

## ◆月刊「精神科」投稿規定◆

〈編集委員長〉

岩波 明

〈編集委員〉

岸 本 年 史      佐 々 木   司      清 水 栄 司

中 込 和 幸      三 村   将      渡 邊 衡 一 郎      (五十音順)

精神科領域に関する論文を募集します。執筆要項は次の各欄の投稿規定に従って御執筆下さい。

### 《原著・投稿規定》

- 1) オリジナルな研究および症例報告を主とし、他誌に掲載されていないものとする。
- 2) 投稿原稿の執筆要項は下記の通りとする(字数は文献を含めた計算)。  
研究 本文・文献は8,000字以内、写真・図・表8個以内(組上り6頁まで無料)。  
症例 本文・文献は6,000字以内、写真・図・表6個以内(組上り5頁まで無料)。  
なお、薬剤に関するPharmacology, Pharmacokinetics, Pharmacodynamics, Pharmacotherapeutics、または前臨床試験およびPhase I, Phase II, Phase III, Phase IVの臨床試験成績をまとめた論文は薬理扱いとし、全頁有料とする。
- 3) 原稿はワープロまたはパソコンでB5またはA4サイズ用の紙で横書きとする。1行の字数は20字または40字、1頁の行数は10の整数倍、行間は5mm以内とし、専門用語以外は当用漢字、現代かなづかいを用い、句読点は正確に書くこと。なお、プリントアウトした原稿とともに、使用機種とソフト、ファイル名を明記した本文テキスト・図・表の電子ファイルを同封すること。
- 4) 表題、著者名、所属は本誌の体裁にならって和英併記、また、必ずパソコンまたはワープロで400～600語の英文抄録を添付し、5項目以内のKey Wordsを英語で指定すること。
- 5) 著者数は原則として9名以内とする。
- 6) 外国語の固有名詞(人名、地名)は原語のまま用いる。ただし、日本語化しているものはなるべくカタカナとする。商標薬品名<sup>®</sup>、その他の固有名詞の頭文字は大文字とするが、文中の外国語単語(病名、その他)の頭文字は、ドイツ語名詞および文頭の場合を除きすべて小文字とする。
- 7) 数字は算用数字を用い、度量衡単位はCGS単位で、m, cm, mm, cm<sup>2</sup>, l, dl, ml, kg, g, mg などとする。
- 8) 写真・図・表には必ず表題と説明をつける。また、組織標本には染色法と倍率をつける。写真は手札型以上の大きさと鮮明であること。なお、原寸大の製版を必要とする場合はその旨を明記のこと(21cm×14cmを限度とする)。カラー印刷希望の場合は有料(1点5～10万円)となる。図でトレースを要するものはトレース料(1点5千～1万円)を申し受ける。他誌より写真・図版を転載する場合は権利者の許諾を得た上でその旨を明記する。
- 9) 文献は本文に用いられたもののみをあげ、引用番号は本文の引用順とし、本文中の引用箇所には必ず肩番号を付すこと。Submitted/in preparationなど、掲載が確定していない論文の引用は原則不可とする。また、文献の書き方(バンクーバースタイル)は下記のように統一し、外国雑誌の略名はIndex Medicusに従うこと。欧文文献はパソコンまたはワープロを使用すること。  
〈雑誌〉 著者氏名。題名一副題一。誌名 西暦発行年；巻数；起始頁。  
〈書籍〉 著者氏名。題名。書名。版数。発行地；発行所名；西暦発行年。巻数。引用頁。引用文献の著者氏名(編者氏名)は、4名以内の場合は全員を書き、5名以上の場合には3名連記の上――、ほか、あるいは――、et al とする。編集書籍は、邦文の場合は例8)、欧文の場合は例10)に従うこと、文献の表題は、副題を含めてフル・タイトルを記すこと。学会発表の抄録を引用するときは表題の最終に[会]、欧文発表の場合は[abstract]をつけること。その他、以下の例に従って誤りないよう注意すること。文献規定が守られていなかったり、引用の誤りがあるときは採択されないことがあるので十分注意すること。  
例 [学会抄録]

- 1) 岸本年史。卒後臨床教育における総合病院精神科の重要性[会]。精神誌 2015；117：SS292。抄録番号 S33-4。

- 2) Qureshi A, Collazos F, Revollo HW, et al. Cultural bias in psychiatric and psychological testing [abstract]. Eur Psychiatry 2009 ; 24 Suppl 1 : S69. Abstract No. S12-03.

[雑誌]

- 3) 岩波 明. うつ病と精神鑑定. 精神科 2013 ; 22 : 268.  
4) Murray SA. Care for all at the end of life. BMJ 2008 ; 336 : 958.  
5) Tanda G, Carboni E, Frau R, Di Chiara G. Increase of extracellular dopamine in the prefrontal cortex : a trait of drugs with antidepressant potential? Psychopharmacology (Berl) 1994 ; 115 : 285.  
6) Duman RS. Synaptic plasticity and mood disorders. Mol Psychiatry 2002 ; 7 Suppl 1 : S29.

[書籍]

- 7) 古川哲雄. ヤヌスの顔 第7集—学際的神経内科学. 東京：科学評論社；2016. p. 143.  
8) 貝谷久宣. 不安障害と双極性障害. 貝谷久宣, 佐々木 司, 不安・抑うつ臨床研究会・編. 不安障害と双極性障害. 東京：日本評論社；2013. pp. 1-15.  
9) American Psychiatric Association. Diagnostic and Statistical Manual for Mental Disorders (DSM-5). 5th ed. Washington, DC : American Psychiatric Association Publishing ; 2013. p. 235.  
10) Sutherland SM. Social phobia. In : Fawcett J, Stein DJ, Jobson KO, editors. Textbook of Treatment Algorithms in Psychopharmacology. Chichester : John Wiley & Sons Ltd. ; 1999. pp. 107-18.  
10) 投稿される論文の内容に関して利益相反がある場合には、その旨を論文末に明記すること。「日本医学会 医学研究のCOIマネージメントに関するガイドライン」(<http://jams.med.or.jp/guideline/index.html>)に準拠する。  
11) First authorには掲載誌1部を無代で進呈する。別刷を希望する場合は50部単位で実費作成するので、著者校正の際に申込むこと。  
12) 刷上り頁が規定限度(研究：6頁, 症例：5頁)を超える場合は超過料金(1頁1万円)を著者負担とする。  
13) 欧文の原稿は受け付けない。ただし、外国人投稿者の場合は必ずしもこの限りでない。  
14) 投稿論文の採否は編集委員会が行い、採用論文の原稿は著者校正時に同封して返送する。  
15) 掲載を急ぐ場合は特掲制度を利用すること。  
16) 原稿は書留郵便で[〒101-8531 東京都千代田区神田司町2-10-15 科学評論社「精神科」編集委員会]宛に送ること。なお編集の都合上、原稿のコピー1部を必ず添付同封すること。〈郵送中における紛失などに対処するため、投稿論文のコピーを手許にも保存されるようすすめる。〉投稿は当社WEBサイトからも受け付けている(<https://www.kahyo.com/contribution>)。

#### 《BRIEF CLINICAL NOTES・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが、以下の点が異なる。

- 1) 本欄は、研究および症例報告に限る。かつ、他誌に掲載されていないものとする。Originalityの高い速報もしくは予報的な報告を目的とする。本欄に掲載された後に、同じ内容の原著は本誌では採択しない。  
2) 執筆要項は次の通りとする。本文・文献は2,800字以内、写真・図または表は2個以内(組上り3頁まで無料)。  
4) 英文抄録は不要、他は同じ。

#### 《REVIEW・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが、以下の点が異なる。

- 1) 本欄は、精神医学上の問題について最近における内外の知見を総論的に記述したものとする。著者の原著報告であってはならない。  
2) 執筆要項は次の通りとする。本文・文献は16,000字以内、写真・図・表は計8個以内(組上り15頁まで無料、ただし薬剤に関するものは有料)。  
4) 400語以内の英文抄録を添付のこと。8項目以内のKey Wordsを英語で指定すること。他は同じ。

#### 《精神薬理・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが、以下の点が異なる。

- 1) 精神病薬に関するPharmacology, Pharmacokinetics, Pharmacodynamics, Pharmacotherapeutics, または

前臨床試験および Phase I, Phase II, Phase III, Phase IV の臨床試験成績をまとめた論文とする。

- 2) 執筆要項は次の通りとする。本文・文献は20,000字以内、写真・図・表は20個以内(組上り20頁以内)。英文抄録、Key Wordsは必ず「原著・投稿規定」に従って添付すること。
- 12) 本欄掲載論文にかぎって特別掲載扱いかつ全頁有料とする。

#### 《原典・古典の紹介・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが、以下の点が異なる。

- 1) 本欄は、精神医学上の古典・原典(疾患、徴候、症候群、検査所見、病理所見、治療法、その他)を紹介し、解説を加えた論文とする。
- 2) 執筆要項は次の通りとする。本文・文献は6,000字以内、写真・図・表は3個以内(組上り5頁まで無料)。写真・図・表はなるべく原典・古典そのものからの複写を用いること(出典は必ず明記のこと)。
- 4) 英文抄録、Key Wordsは不要、他は同じ。
- 9) 文献の書き方は「原著・投稿規定」に準ずるが、雑誌の場合には、著者(全員)、題名、誌名、西暦発行年、発行月または月日；巻(号)：起始頁-終頁、のように完全なものとする。

例 1) West WJ. On a peculiar form of infantile convulsions. Lancet 1841 Feb 13 ; 1(991) : 724-5.

2) 呉 秀三. トムゼン氏病ノ一種. 東京医学会雑誌 1892 June 5 ; 6(11) : 205-14.

#### 《人・土地・業績・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが、以下の点が異なる。

- 1) 本欄は、精神医学上の傑出した内外の人物の伝記やその業績、ゆかりの深い土地、研究所、病院等について読者に紹介することを目的とする。
- 2) 執筆要項は次の通りとする。本文・文献は8,000字以内、写真・図・表は10個以内(組上り6頁まで無料)。
- 4) 英文抄録、Key Wordsは不要、他は同じ。

#### 《眼で見る精神科・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが、以下の点が異なる。

- 1) 本欄は、精神医学上の典型的な写真(患者の症候、X線、CT、MRI、脳波、眼底、生化学などの検査所見、剖検所見、組織所見、その他)の呈示を主な目的とし、それに簡単な解説を加えたものとする。したがって、研究原著または症例報告の形式はとらない。
- 2) 執筆要項は次の通りとする。写真(原則として白黒写真)は1~4個、本文(解説)は文献を含めて1,600字以内(組上り3頁まで無料)。
- 4) 英文抄録、Key Wordsは不要、他は同じ。

#### 《LETTERS TO THE EDITOR・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが、以下の点が異なる。

- 1) 本欄は、日常の診療・研究活動上に得られたヒント、思いつき、発見!?, 反省点、誤診しやすい盲点など、また、本誌に掲載された論文に対する各種の意見(追加、討議、希望など)を書簡の形式(口語体)で書いたものとする。将来、文献として引用され得る価値のあるものを採択する方針である。
- 2) 執筆要項は次の通りとする。本文は、文献(3個以内)を含めて1,200字以内(組上り1頁まで無料)、写真・図・表はなしとする。
- 4) 表題、投稿者名は本欄の体裁にならって和英併記、また、投稿年月日を明記のこと、英文抄録、Key Wordsは不要、他は同じ。

#### 《記録・投稿規定》

原著・投稿規定に準ずるが、以下の点が異なる。

- 1) 本欄は、精神科領域に関する研究会や検討会・討議会、座談会などの内容を記述したものとする。
- 2) 執筆要項は主催者の方針に従う。Key Words、英文抄録は不要。
- 3) 会名は和英併記。開催日時、開催場所は必ず記載する。開催後1年以上経過したものは受けつけない。
- 12) 本欄は全頁実費掲載とする。